

OpenText Professional Performance Engineering

- 負荷テストツールのデファクトスタンダード -

HITACHI

こんなお困りごとはありませんか？

- ❄️ ロードテスト、ストレステストなどは準備が大変で工数が掛かってしまう
- ❄️ 複数アプリケーションが混在している環境で、負荷テストのシナリオ作成と実施が困難
- ❄️ 大規模ユーザを想定した負荷テストを実施したいが、必要なリソースを準備できない

OpenText Professional Performance Engineering で解決できます！

- 💡 使いやすく、分かりやすいコンポーネント構成により、ツール習熟に時間を掛けることなく各種テストを実施できるため、テストの工数を縮減できます
- 💡 50を超える通信プロトコルに対応しているため、様々なアプリケーションが混在する環境でも、現実的なシナリオで負荷テストが実施できます
- 💡 大規模な負荷テストも少ないマシン台数で実行できます
また、クラウド上に予め準備されたロードジェネレータを利用することで、端末準備コストを削減できます

お勧めするポイント

- ✓ 圧倒的な市場シェア
負荷テストツールのデファクトスタンダードとして世界で豊富な実績があります
- ✓ 解析データの深さ
膨大なパフォーマンスデータを効率的に収集/分析し問題の発見と解決にかかる時間を短縮可能です

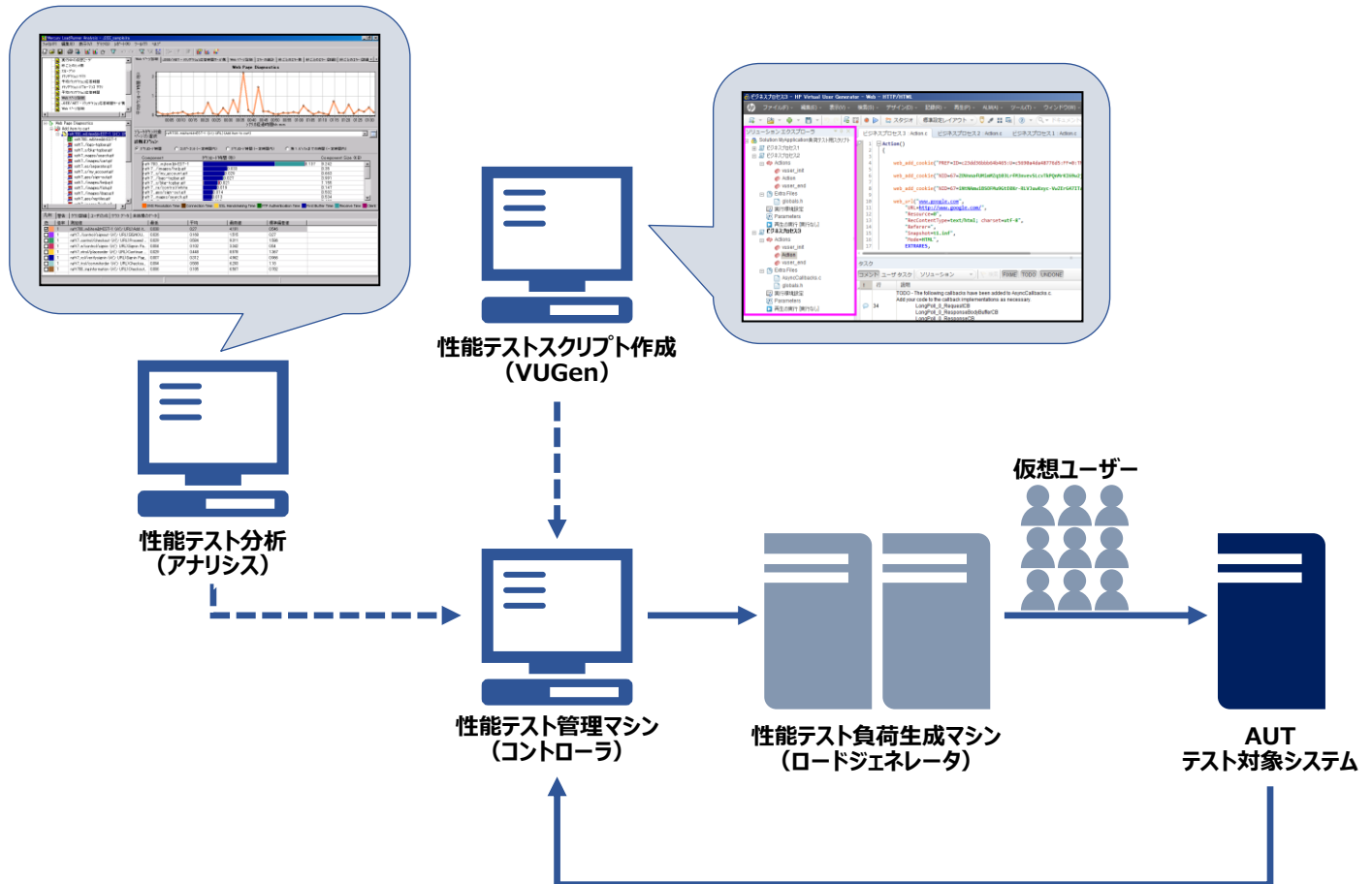


OpenText Professional Performance Engineering の機能概要

基本的なシステムは、「VUGen」「コントローラ」「ロードジェネレータ」「アナリシス」の4つのコンポーネントにより構成されます。

「VUGen」により負荷テスト用スクリプトを作成し、それらのスクリプトに基づいたシナリオによる負荷テストを「コントローラ」で実行・管理します。負荷の生成はオンプレミス、またはクラウド上に設置された「ロードジェネレータ」が管理します。

負荷テスト実行結果は「アナリシス」によってグラフ化やレポート出力することができます。



参考価格 ※2025年10月時点の価格です

個別見積となります。

【例：約400万円（コントローラ1、Webプロトコル利用、仮想ユーザ数100、保守費除く）】

日立ソリューションズなら

- テスト自動化ツールとの組み合わせ、性能監視ツールとの組み合わせで提案できます。
- 負荷テストも含めたテストプロセスの自動化についても支援しています。

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取ください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/microfocus-enterprise/

